



北浦和小学校だより

はと広場

平成 29 年 11 月 1 日発行 No. 7

さいたま市立北浦和小学校

TEL 048-831-2463

“褒められた！認められた！”を原動力に

校長 益子 聡

9月、5年生の東秩父村和紙の里、SUBARU群馬製作所への社会科見学から始まった各学年の秋の校外行事は、10月末の1年生の東武動物公園への遠足をもってひとまず終了しました。例年に比べて不安定な天気の日が長く続く中での実施となりましたが、ご家庭での子どもの服装への気遣いや持ち物の準備、当日のお見送りやお迎えなどに、保護者の皆様のあたたかなご支援をいただきました。ありがとうございました。

◆ 成長している 北浦和小の子どもたち

- ▷ サッと集合・整列ができるし、気持ちの切り替えがうまいですね
- ▷ 友だちに励ましや優しい言葉がかけられて、心が育っている子どもたちですね
- ▷ 好奇心に満ちた視線が注がれ、質問も本質を鋭く突いてきますね

これらの言葉は、その時々の利用施設の職員や旅行関係の方々からいただいた、北浦和小の児童に対するお褒めの言葉です。私たち引率した教員も同じことを感じました。

学校に帰ってきてから、引率の教員は、子どもたちの前で

「一人ひとりが時間を守りながら行動できていたので、予定以上の充実した活動ができました」

「みんなが仲よく、お互いに声をかけ合い助け合っている姿が、いろいろな場面で見られました」

「話をよく聴いたり、メモをたくさんとったりして、たくさんのことを学んでいました」

と一日を振り返りました。また、教職員の間でも

「一人ひとりが自分の係の仕事に責任を持って積極的に行い、見ている子どもたちの頑張りを感しました」

「4月の頃から比べるとずいぶんしっかりして……うれしい成長です」

といった感想を話していました。

学校内では〈○○さん、△△さん〉と、一人ひとりの名前で声をかけられ見守られている子どもたちも、学校を離れると、常に〈北浦和小学校の子ども〉という看板を背負いながら集団で活動を行ったり、公共の施設を利用したりすることになります。その点を意識しながらも、行事のねらいを十分に達成するためのきめ細かな事前指導を行ってきた担任にとって、各方面の方々からのお褒めの言葉や子どもたちの自立したたのもしい姿は何よりも嬉しかったことでしょう。

子どもたちも約束を守り規律ある行動をとることで、先輩たちが築き上げてきた北浦和小学校の71年間の歴史・伝統・校風を引き継ぐことができたこと、また行事の本来の目的である校外での活動がより充実したものになり、誰もが楽しい時間を過ごすことができることに結びつくということを体で学んだに違いありません。

◆ これからも楽しみな 子どもたちの成長

集団生活において規律を守るということは極めて大事なことです。規律を守るとは、社会のルールや人との約束を守るということですが、内容は多岐にわたっています。例えば

- ・時間やきまりを守る
- ・助け合い共に働く
- ・集団の中で与えられた責任を果たす
- ・友だちの気持ちを思いやる
- ・進んで挨拶をする
- ・礼儀正しく振る舞う…… などです。

毎日の楽しい学校生活の基本も、規律を守ることにあると言えます。

今回の校外行事を通して、たくさん大人の褒められ認められたことが原動力となり、北浦和小の子どもたちがこれからの行事を通してさらにどんな成長を見せてくれるのか、私も楽しみに見守っていきます。さらに、一人ひとりの成長が、今後の北浦和小学校全体の盛り上がり波及していくことも願っています。

校外で過ごした一日の中で、子どもたちの笑顔がひとときわ輝いていたのは、お弁当を食べる時間でした。一人ひとりのお弁当には、わが子のことを思いながら手間と時間をかけて作ったであろう保護者の皆さんのあたたかな愛情が感じられ、引率の教職員も深く感動しました。家族に愛されている北小の子どもたち——。本当に幸せな子どもたちです。